





発表項目 (行事名)	 ほっかいどう未来チャレンジ基金 「みらチャレ通信」Vol. 42の発行について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道の未来を担う若者達の海外挑戦を応援するため、平成28年12月に創設した「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。この基金により海外に留学した方々の活動状況などをお伝えする月刊紙「みらチャレ通信」Vol. 42を発行しました。</p> <p>■掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度みらチャレ第4期生の募集を開始します！ ・令和2年度帰国報告会（オンライン）を開催しました ・第3期生が応援パートナーズリーダー（(株)セコマ丸谷会長）を訪問しました <p>第3期生未来の匠コース鹿野皓己さんと学生留学コースの立花洋太郎さんが応援パートナーズリーダーである(株)セコマ丸谷会長のもとを訪れ、留学成果を報告し、丸谷会長から助言と激励をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みらチャレ留学説明会（オンライン）を開催しました！ ・みらチャレPRリーフレットの配布に御協力いただきました！ <p>■主な配布先 応援パートナー（企業、団体等）、道内大学等 ※基金ホームページにも掲載しています。</p> <p>■発行時期 毎月下旬</p>		
参考	ほっかいどう未来チャレンジ基金 公式Facebook「みらチャレ」 https://m.facebook.com/mirachalle/ 基金生の海外での活動状況等を随時掲載しています。   		

報道（取材） に当たって のお願い	助成対象者の海外留学の状況を情報発信することにより、道内の若者の海外挑戦に向けた機運醸成と、寄附などオール北海道での応援体制の構築を図っていききたいので、積極的な報道にご協力よろしく申し上げます。		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	総合政策部政策局総合教育推進課 工藤 電話：ダイヤルイン 011-206-7380 (内線 23-109)		
-------------	--	--	--

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！3月末時点で、第3期生1名が北海道特派員として引き続き海外で活動中です！

令和3年度みらチャレ第4期生の募集を開始します！

ほっかいどう未来チャレンジ基金第4期生の募集を4月1日から開始します。

学生留学コースは令和3年8月10日以降に研修を開始する留学で、令和3年12月31日までに研修が終わる計画が対象となります。その他3コースは7月15日以降で、令和4年3月31日までに研修等を開始する留学が対象です。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、募集を中止しましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況も注視しながら募集・選考を進めることとしています。

なお、募集要項（実施要項）では、留学先機関の所在地が、外務省の海外安全ホームページ上の「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当する地域ではない留学計画を求めています。令和3年度は、応募時点でレベル2以上であっても応募・選考を行います。ただし、留学計画開始時点又は留学計画開始後に「レベル2」以上となった場合は、原則として、月額奨学金（滞在費）の支給対象外となります。また、新型コロナウイルス感染症の状況により、事務局がプログラムを中止と判断する可能性があります。

募集の詳細はホームページをご覧ください。



主な応募要件

- 4月1日現在で、18～39歳の方（学生留学コースは30歳まで）
- 道内市町村に住居登録がある方（学生留学コースは道内の大学等に在籍している方）
- 留学先における受入機関が確保できる方
- 帰国後3年間は北海道に居住できる方（学生留学コースを除く）

主な支援内容

- 滞在費（定額）：12 or 16万円/月
（派遣先地域により変動）
- 往復渡航費（定額）：10 or 20万円
（派遣先地域により変動）
- 授業料、研修費等：上限30万円

選考スケジュール

面接一次審査：学生留学コース 5月上旬～中旬
 その他3コース 5月中旬
 面接二次審査：5月下旬

応募期間

学生留学コース：所属大学等により異なりますので大学の担当課に確認してください
 その他3コース：4月1日～4月23日

事前相談

第4期生への応募を検討している方や関係者等を対象に、みらチャレの応募資格や支援内容などについてのご相談を随時受け付けています。留学計画の検討にあたり制度を詳しく知りたい方や、応募後の選考プロセスなどについてご不明な点がある方は、是非ご相談ください。

※お問い合わせ先は裏面下の連絡先です。（学生留学コースは、所属大学等にお問い合わせください。）

令和2年度帰国報告会（オンライン）を開催しました

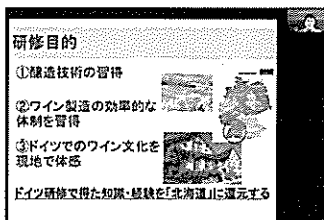
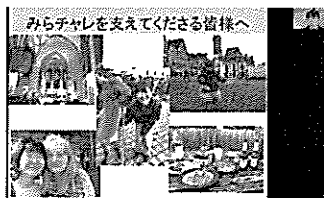
みらチャレを活用して海外留学した第3期生の留学成果を、応援パートナーや関係者の皆様に広く発信することで、更なる連携を図るとともに、第3期生が多くの方々を支えているという実感を持ち、北海道への貢献意欲を高めるために3月26日（金）に帰国報告会を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して初のオンライン開催とし、応援パートナーや大学関係者の皆様など約40名にご参加いただきました。

知事からの激励メッセージの後、第3期生6名による留学成果発表（文化芸術コースの清水柚衣さんは、北海道特派員として留学中のため不参加）を行いました。

現地での研修内容や異なる文化・習慣を体験できたことや、コロナ禍で中断や研修内容の変更など思いどおりの留学にならない苦労など、実体験として語っていただきました。

参加した応援パートナーズリーダーからは、留学で学んだことをぜひこれからの北海道での活動に活かしてほしいと激励の言葉がありました。これからのみらチャレ3期生の活躍に期待するとともに、留學生の活用希望がありましたら、裏面下の連絡先へお問い合わせください。



○第3期生が応援パートナーズリーダー（株式会社セコマ代表取締役会長 丸谷様）を訪問しました

3月1日（月）、ほっかいどう未来チャレンジ応援パートナーズリーダーの株式会社セコマ代表取締役会長の丸谷様を第3期生未来の匠コースの鹿野皓己さん（北海道ワイン株式会社）と、学生留学コースの立花洋太郎さん（北海道教育大学）が訪れ、留学の成果や将来の目標について発表しました。

丸谷様からは、ドイツでワインの醸造技術を学んだ鹿野さんに対しては、ワインづくりの基本的な考え方に加え、北海道のワイン産業育成について、セコマの戦略を踏まえた上での助言をいただきました。

ノルウェーで先進的なICTを活用したものづくり教育を学んだ立花さんに対しては、日本のICT教育のあり方や自社の若手社員の特徴を事例にあげながら、ICT活用の功罪などをしっかりと把握した上で、日本の教育に適合したICT教育を目指すよう助言をいただきました。

最後に二人に対して「今回の留学成果を活かして今後の北海道での活躍を期待したい。」との激励をいただきました。



(株)セコマ 丸谷会長



鹿野 皓己さん

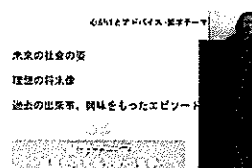


立花 洋太郎さん

○みらチャレ留学説明会（オンライン）を開催しました！

2月25日（木）、26日（金）の2日間、みらチャレ第4期生募集に係る留学説明会をオンライン形式で開催し、2日間合計で97名の参加があり、留学への関心の高さがうかがわれました。

説明会ではみらチャレ3期生学生留学コースの有働篤人さん、海辺菜々美さんから留学体験の報告もあり、留学の心構えや留学で学んだことなどを話され、参加者からは「インターンシップ先はどう選ぶのか」、「コロナで渡航不可の場合、延期は可能か」などの質問が寄せられました。今後も随時質問・相談を受け付けています。



○みらチャレPRリーフレットの配布に御協力いただきました！

「ほっかいどう未来チャレンジ応援サポーター」である（公社）北海道宅地建物取引業協会様の御協力により、3月9日（火）及び15日（月）～17日（水）まで札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）で開催された「不動産に関する冊子・パンフレット無料配布」でみらチャレのリーフレットも配布いただき、多くの方に効果的に「みらチャレ」のPRを行うことができました。

御協力ありがとうございました！



応援パートナーの皆様

(2021年3月現在・敬称略)

武田 孝 有末 真哉 石川 諭史 遠藤 光二 小黒 敬三 坂詰 貴司 佐藤 友昭 鈴木 伸明 船津 秀樹 山田 義勝 他匿名希望の個人・企業5者